



『海禅寺新聞』第48号

年の瀬が迫り、寒さが身に染みる季節となりました。皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。今年も海禅寺の護持運営にご理解ご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

そしてこの一年も、皆様とのご縁に支えられ、様々な法要や行事を無事に勤め納めることができました。ありがとうございます。

生活の端々で年末を感じるこの季節は、本年の出来事を振り返る事が多くなってくるものです。過ぎた日々、その時間は決して手元に帰ってきませんが、そうした毎日と対話できることが、人間の尊さであるように思います。

そんな時、次のような一文に出会いました。

「人生で一番後悔していることはなんですか」と六十代の貴婦人に訊ねました。

「いつか外国に行きたい、いつか華道もやってみたい、なんて思ってた。けど、就職して仕事して結婚して出産して育児も

して、お金も時間も体力も余裕も小鳥みたいになえていく。「いつかは来ない」と知った。外国語を学んでから、とか、お金に余裕を持つてから、では遅かったの。思ったその日その瞬間動いておけばよかった。どんなに不完全でも、不完全のまま動くしかなかったのよ。そう彼女は語ったのです。

私にも心当たりがある。「事前完璧主義」に陥ると一歩も動けなくなるものです。

ベストなタイミングは、永久に来ない。

はいあなたの出番です、なんて調子の良いコールは滅多に來ない。必要なものは、

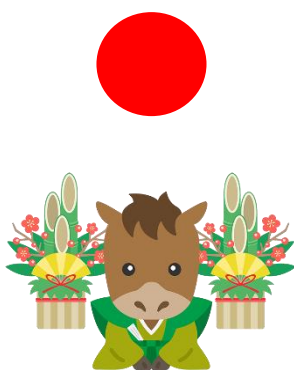
現地調達するしかない。拾いながら走っていくしかない。扉を叩きに行くしかない。

い。どうやら人生は、そういうものなのです。完璧主義にできることは限られている。「野蛮であれ」ということです。

※『20代で得た知見』F著より

「野蛮であれ」とは、「自分に素直であれ」ということでしょうか。この文章を読んだ時、過ぎ去った日々の中にあるやり残したことを思い、後悔の念を抱く方もいらつしやるかもしれません。しかし、私たちの足元にあるのは「現在」のみ。「過去」や「未来」は、どうすることもできませんが、「現在」は私たちのものです。

「何歳であれ、行動を始めるのに遅すぎることはない」と、多くの偉人たちが語っています。目の前にある人生は、常に「今」です。皆さんの現在が、充実の「今」の連続でありますように。来る新しい年も、今を丁寧歩いて参りましょう。



『初祈願お申込み』を送付

新年恒例となっております『初祈願大護摩祈禱札のお申込み』を同封いたしました。

海禅寺の不動堂にて、ご本尊不動明王の御前で勤める護摩祈禱にてお加持をした護摩札をお授けいたします。

○日程 新年1月2日（金）祝日
○時間・ご祈禱 午前10時～

※お堂にお入りの方は10時40分頃、御札をお渡しできます

・御札渡し 午前11時～午後5時
・御札郵送 3日発送

●初祈願ご祈禱札をご希望の方は、**12月28日（日）までに**、同封の『初祈願御申込御芳名帳』にてお申込みください。ファックスでも可 Fax：0268-26-1147

●下記のフォームよりお申込みも可能です。下記QRコードをスマートフォンで読み込んでご入力ください



・当日お堂にお入りにならないお申し込みの方々にはご祈禱後、**午前11時より**ご祈禱札をお渡しできます（当日は夕刻5時まで）。お申込みの方はご都合のよい時間に合わせてお寺にご参拝いただいても結構です。

・祈禱札の郵送もいたします。（送料500円 郵送料高騰につき来年から送料値上げをいたします）

・ご希望の方は申込書に明記ください。護摩祈禱会終了後、ご希望の方はご歓談いただけるようにお茶の準備をいたします。お時間許す方は茶話会にご参加ください。（お集まりの方の中でご希望があれば、不動尊にお供えした御神酒をお下げて一献やりましょう）

しゅしょうえ
修正会

新年最初の法要である修正会。新しい年が皆様にとってよりよい一年でありますように御祈念いたします。

海禅寺では年が明けた深夜0時より、本堂・不動堂・聖天堂でお勤めをしております。

ご参拝希望の方はお堂の外からですが、どうぞご自由にお参りください。(申込不要)

○日 時…新年1月1日

午前0時～1時過ぎまで

※本堂…住職が各家ご先祖の回向法要を勤修
不動堂・聖天堂…副住職が祈願法要を勤修
※右記の時間以外でも元旦は開門しています。

『生きる力 vol.123』送付

真言宗智山派で檀信徒の皆様へ向けて発行している季刊誌をお送りします。

今回の特集は『初詣とご本尊さまのご利益』です。ぜひ年末年始の一時、お読みただけましたら幸いです。

※6ページ、20ページには、海禅寺でも新年にお勤めする「護摩祈祷」の事がわかりやすく書かれています。ご参拝の前にご一読いただくと、より意義深いお参りになるかと思えます。

報告 秋の朝活 テラ掃除



「秋の朝、皆さんで菩提寺である海禅寺のお掃除にご協力いただけませんか？」と前号の海禅寺新聞で告知しましたこの企画。初めての取り組みでしたが、当日は大勢の皆さんが集まってくださいました。想定では10名程の参加者を見込んでいましたが、有り難いことに30名以上の皆さんで境内掃除ができました。

今回、口コミで海禅寺の檀信徒さん以外にも新田自治会の役員さん、芙蓉園親父の会OBの方々、そして卒園生の子どもたちが集まり、にぎやかな会となりました。また、実施日に参加できなからと、

1週間前に墓地の落ち葉掃除をしてくださった方もおられ、こちらも大変に有り難い事でした。

一仕事終わった後は、落ち葉焚きをして、焼き芋会。和気あいあい談笑しながら、とてもよい時間でした。こうして海禅寺が「皆さんの場所」として更に定着していくことを願っております。

告知の仕方や、当日の作業分担のお願いの内容に、寺として課題が残りましたが、決して皆さんにご無理をお願いする会ではなく、「できる時に、できる人が、できる事を、できるだけ愉快にする」とをモットーに、今後も続けていきたいと思えます。ありがとうございました。



報告 人形供養会 無事勤修

右記で話題にしたお掃除会の1週間後、恒例の人形供養会を、11月23日(勤労感謝の日)に勤修しました。本年は回を重ねること41回目となりました。

今年も県内外から供養人形さんたちが集まりました。しかし例年と比べると、

お人形の数が少なくなった印象がありました。確かなことは分かりませんが、これは人口減少の影響や、お人形とのお分かれの仕方が多様化していることなどが考えられます。

当日は海禅寺とご縁のある県外の僧侶の方に多数ご出仕いただき、お人形達に感謝の誠を捧げる供養法要を無事お勤めすることができました。また智山雅楽会の方々には今年も供養の場に花を添えるがごとく、雅楽の奉納演奏をしていただきました。

本堂前に大きな祭壇を設け、お人形たちが最後の晴れ舞台として居並びます。供養を志す供養者の想い、そしてお人形たちが背負ってきたたくさんの物語を一つ一つ丁寧に汲み上げての柴燈護摩法要です。一見勇壮な護摩の煙、炎、読経は、務めを全うしたお人形さんたちへの心づくしの「はなむけ」でもあります。供養を見つめ、静かに手を合わせる方々、そして溢れる想いに涙されている方々の姿が印象的でした。

本年はNHKはじめ、多くのメディアの取材があり、後日の問い合わせを多くいただいております。引き続き海禅寺の恒例行事として、続けて参ります。

本行事に際しては、大勢の方々のご理解とご協力をいただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。

★来年の人形供養会について

日時…令和8年11月23日(勤労感謝の日)
事前申込…2月3日(節分)以降随時

※12月・1月は年末年始の繁忙期につき、春の節分以降に事前のお預かりを始めます。今回の供養会まで、寺で保管いたします。

報告 境内の枯れ木伐採

→ 供養会の様子。穏やかで暖かなお天気にも恵まれました。



自然豊かな海禅寺の境内地。春には各所の桜、特に参道のソメイヨシノが満開になると、お散歩参拝の方々が多く訪れる「お花見穴場スポット」でもあります。しかしここ数年、老木となったソメイヨシノの枝枯れが著しく、時に太い枯れ枝が落下することもしばしばでした。そこでおなじみの特殊伐採業者「ルーツ・ツリー」さんに依頼し、整備をお願いしました。当日は大型特殊クレーンも入り、大規模な伐採作業となりました。また参道で巨木化していた杉の大木が土堀の瓦を破損するほどになっていたので、合わせて杉2本も伐採していただきました。2日間に渡る作業でしたが、無事環境整備ができました。破損していた土堀の瓦も修繕が完了しています。ここに報告いたします。

